



濁川中だより

令和5年
4月20日
第1号

入学式



誓いの言葉

新入生代表



(抜粹)
僕達五十二
名は、それ
ぞれの目標と
希望を胸に、
濁川中学校と
いう新たな舞
台への第一歩を踏み出しました。

なかなか先の見えないコロナ禍ですが、ただの不運と考えるのではなく、こんな状況だからこそ、どうすればよりよい学校生活を送ることができるかを仲間と共に考え、身も心も成長できるよう、努めて参ります。

僕は、より良い学校生活を送るためにがんばりたいことが二つあります。

一つ目は、勉強です。新たに加わる英語や数学、教科ごとに変わる担当の先生、小学校と異なるところがたくさんあります。二つ目は、人間関係です。新たな環境の中で、僕は相手の立場に立って考え、思いやりの心を大切に、互いに信頼し合える関係を築いていきたいと考えます。

中学校生活では、先生方や先輩方、地域の方や保護者の皆様にご指導いただきながら、充実した楽しい時を過ごし、濁川中学校の生徒として恥じぬよう、規律正しい生活を送ってまいります。

今抱いているこの気持ちをしっかりと胸に刻み、よりよい学校生活を過ごせるように、精一杯務めることを誓います。

歓迎の言葉

生徒会副会長



(抜粹)
濁川中学校の
行事は、基本
的に生徒が主
体となって取
り組みます。

大きな行事には、体育祭と合唱祭があります。体育祭では、各クラスで応援リーダーを決め、その応援リーダーが中心となって、3学年の縦割りの軍ごとして応援や競技の練習を行います。自分たちで企画を考え、進行することはとても大変なことです。その分やりがいもたくさん感じられます。仲間と協力して行動することで、クラスや学年、そして全校の団結力が深まり、普段の日常生活にも良い影響を及ぼすことができます。

学習は、最初はどうか勉強すればいいのかわからず、苦戦することもあるでしょう。

濁川中学校では、月に一度「学び合い教室」を行っています。学び合い教室では、友達同士で教えあったり、わからないところを先生に質問したりします。

濁川中学校には、クラスや学年の壁を越えて協力し、ともに高め合える力があります。生徒一人一人が協力し合い、積極的に活動することができると、最高の行事を創り上げることが出来ます。このほかにも、挨拶に力を入れていたり、地域との交流が盛んなところも、濁川中学校の自慢の一つです。中学校での三年間はあつという間です。三年間が、忘れられない思い出になるよう、仲間との関わりを大切にしながら、様々なことに挑戦してください。私たちも、皆さんと過ごす中学校生活をとても楽しみにしています。

式辞

校長 武田 統理



(抜粹)
アフターコロナ
といわれるこれか
らの「新しい濁川
中学校」を、皆さん
と共にていくこ
とになります。

生活上の制約がなくなったのだから以前の学校生活に戻す、これも一つの方法かもしれませんが。しかし「停滞は衰退である」という言葉があるように、元に戻す、や、以前と同じ、ではこの三年間の学びや経験を生かしていかないことになり、衰退、つまり前進できずに後退することになる、ともいえます。今までの常識が常識ではなくなった経験をした私たちだからこそ、そして、物事のもっている

本来の目的、目標を見直しながら、新しい方法で前に進むことを止めなかった私たちがだからこそ、これからの学校や社会で、新たな方法や価値を生み出せると信じています。これからの数年間は、私たちの真価、本当の価値が問われる期間、といっても過言ではないと思います。

そして昨日の始業式では、二年生、三年生に、今年度は「対話」をキーワードに学校づくりを進めます、との話をしました。対話は会話とは違います。対話とは目的を達成するために知恵やアイデアを出し合い、みんなが納得し、合意形成することです。

その前提として、まず様々な考えを認め合うことが大切となります。この多様性を認め合うことで、新たな発想、今までにはない考えが浮かび、今をよりよい方向へ変えていくとする「創造性」、そして「知性」が高められます。つまり、対話は「自分の変化、成長」を伴います。同じ考えや価値観の中で安心せず、価値観の違う人と対話することで学校を変えながら、自分自身を成長させて欲しいと思います。

そのために、日頃の小さな疑問を大切にしてください。当たり前を当たり前と思わず、そして思うだけではなく、どう行動するかを考えることを大切にしてください。今年度の生徒会では、意見箱を活用した生徒会の活性化を考えています。先輩たちは、生徒一人一人の意見によって新しい学校を創る準備を整えています。是非、自分の考えに自信を持ち、積極的に発言し、自分たちの手で学校生活を創り上げていく一人となってください。皆さんが卒業するまでの三年間で、学校をどのような姿に進化させ、共に創り上げていくのかを楽しみにしています。